

Harmony

事業団
だより

2023.7
VOL.62
Harmony
Kuonky

「シラン」

デイサービスの利用者様が撮られたシランの花の写真です。
カメラが趣味とのことで、庭のお花や夕焼けを写真におさめているそうです。

新任職員研修報告



新任職員研修での気づきと学び

きぼうの家 介護士 土橋 采奈 (とばし あやな)

新任職員研修に参加し、事業団の概要や現状、方針などの話を聞くことで事業団について改めて学ぶことができました。午後の時間に「事業団に就職してから困ったこと、悩んだこと、感じたこと」という題でグループ討議を行いました。新任職員という同じ立場の目線から意見交換をすることで、自分の感じ

ていることを素直に共有することができました。また、他の人達の意見を聞くことで様々な課題を解決するための新たな気づきがありました。社会経験をしている方もいたので、学びを深めると同時に、まだまだ未熟な部分があると感じ、これから更に頑張ろうと思えるきっかけにもなりました。これから働く上で必要なことを学び、良い時間を過ごすことができました。今回の研修で学んだ様々なことを、今後の業務に生かしていきたいと思います。



事業団に就職して困った事、悩んだこと、感じた事

サテライト桃源荘 介護士 奥山 雅敏 (おくやままさとし)

事業団に就職し施設の事に慣れ始め、他の施設はどのような介護の仕方をしているのか気になっていました。実際にグループ討議で話を聞いていると、施設ごとに特色があり大部分が同じでも、細かいところで利用者様への対応のしかたや介助方法に違いがあり、勉強になりました。

また、自分と同じような悩みを経験した他職員からアドバイスをもらったり、逆に自分とは全く違う悩みや困りごとを聞いたりして視野が広がりました。今回の研修を受けて、他の施設の職員から聞いた利用者様への支援の方法などを参考にして、自分なりのサービスができるようにしていこうと思いました。



新任職員研修を受けて

はまなし寮 看護師 渡邊 千津子 (わたなべちづこ)

今回は、新任職員研修に参加させていただき、他施設の方と顔を合わせられる貴重な時間となりました。集合研修のグループワークでは、いろいろな悩み事を打ち明ける事ができ、解決策などを皆で話し合う機会となりました。施設見学では各施設の沿革を含めた特徴や課題なども学

ぶことができ、実際に利用者様とも、挨拶程度でしたが関わられた施設もありました。「また来てね～」ともえぎ寮の利用者様の笑顔がとても印象的でした。今回の研修を通して、法人全体の歴史や事業内容、実際に施設を訪れた事で、規模感を体感できました。まだまだ経験は短いですが、法人職員としてこれからも頑張りたいと思います。



新任職員研修

もえぎ寮 支援員 落合 紀美子 (おちあいきみこ)

今回初めて研修に参加させていただきました。グループ討議では、今まで相談できなかった悩みや疑問を新人同士で話し合いました。悩みに対し「単に経験不足・知識不足ではないか」と言った厳しいご指摘もありましたが、まだまだ仕事について分からない事が多いので

れからも支援についての勉強や経験を積んで成長していきたいと思います。また、職員との信頼関係の築き方や教えていただいたことの生かし方など、働くことについて改めて考える良い機会となりました。

理事長の話では、事業団に勤めていただいている感謝の意が示されました。有難いと思うとともに改めてこの仕事に対しての責任と誇りを感じました。



新人職員研修の感想

桃源荘 介護士 丸山 敦史 (まるやまあつし)

昨年契約社員として事業団に就職して初めての研修となりました。他施設の職員の方々と交流することは初めてなので大変楽しみにしていました。研修では、事業団の歴史や現状を学び、グループに分かれ、就職しての悩みや課題について話し合いを行いました。普段、仕事をやる中で感じている

事を発表していく中で、共感できる内容がたくさんありました。また、他の人の意見を聞く事によって、普段、自分が感じている事でも見方が変わり、悩みの解決に繋がる事もあると思いました。今回の研修を通して、施設は異なりますが、それぞれが感じている事を共有するというのが、どれだけ今後の自分・施設にとって意味のある事なのかがわかりました。

また、このような交流する機会がありましたら是非参加させて頂きたいと思います。



新任研修を終えて

豊寿荘 准看護師 宮下 淳 (みやしたじゅん)

新任職員研修に参加させていただき、事業団の現状等把握ができた。グループワークでは、他の施設職員と意見交換ができ、今悩んでいたことやこれまで疑問に思っていた事など話を行う事で、解決出来たので良い機会になった。今後も違う形で交流が行えたらと感じました。

また、施設見学では、コロナの流行で施設内をしっかりと見学ができなかったのが、少し残念でした。同じ施設でも作りが異なれば、対応の仕方も違うので、機会があればまた見学ができればと思っています。今回の研修で学んだことを今後の業務に生かし事業団の一職員として職務に当たっていききたいと思います。



事業団に就職して困った事、悩んだこと、感じた事

明生学園 保育士 五島 春菜 (ごしまはるな)

今回の新人研修で、就職してからの悩みや困った事を同期と話合う事ができ、とても良い機会だったと感じます。現場には私と同じ新人職員がいないので、分からない事や困っている事を先輩方に聞くことはあっても、悩みを共有できる人がいませんでした。しかし今回の研修で自分

自身も不安だったことや、感じていた事が私だけでないという事を知り、少し安心する事ができました。また、大勢の方々とグループワークを通して、改めてこの職業の大切さを感じる事ができました。まだまだ分からない事だらけで不安になる事もありますが、徐々に慣れていけるように頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。

令和4年度 社会福祉事業団事業報告

I 総括

1 利用者本位

(1) 各施設の特性に応じた利用者支援

高齢者、障害者、児童の多様なニーズに対応するため、施設ごとの特性に応じた利用者支援に努め、利用者一人ひとりのQOLの向上に努めた。

(2) 自己評価と顧客満足度調査を活用したサービスの向上

利用者のニーズを的確に把握し、利用者の視点に立った質の高いサービスを提供するため、各施設において、サービスの「自己評価」と利用者に対する「顧客満足度調査」を実施し、サービス向上に取り組んだ。

(3) コンプライアンスとリスクマネジメントの徹底

「コンプライアンス行動規範」及び「コンプライアンス行動基準」により、利用者のより一層の権利擁護を図り、利用者志向の職務遂行と良質かつ適切なサービスの提供に努めた。

また、リスクマネジメントを徹底することにより、介護事故と施設内虐待の未然防止に努めるとともに、新型コロナウイルスについては、安心してサービスを利用していただくため感染防止対策の徹底を図ったが、複数施設でクラスターが発生し、その対応に追われた。そうした経験を踏まえ、日々の衛生管理体制を強化し、事業団内での感染拡大防止のための情報共有に努めた。

(4) 職員提案による介護・支援の改善と活力ある職場の創造

職員自らの業務改善提案を通じて施設運営への参加意識を醸成し、組織の活性化を図るため、職員提案・職員表彰制度を実施し、令和4年度は17件の提案に対し16件を採択した。

制度創設から改善等が逐次なされてきたことやコロナ禍という状況等もあって提案件数は減少しているものの、採択された提案は、利用者へのサービス向上やリスク管理、業務の効率化等に効果を上げた。

(5) 相談解決体制の充実

介護や支援に対する相談、苦情又は要望への相談体制と第三者による相談対応窓口について、利用者や家族に周知するとともに、職場におけるハラスメント防止に関する細則や相談対応マニュアル等に基づき、職員からの相談や苦情に迅速かつ適切に対応した。

(6) 職員研修の充実

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、多くの県外研修等を中止とする一方、職員の意識と介護技術や専門性の向上を図るため、開催時期を工夫して、対面型研修を実施するとともに、ビデオ会議ツールなどを用いたオンライン研修を多用して、人材育成によるサービスの質の向上を図った。

2 健全経営

(1) 健全経営の推進

①「経営計画」に基づいて設定した目標利用率を達成できるように、市町村など関係機関と連携を密にして利用者確保及び入退所期間のタイムラグの短縮に努めた。

②消防設備保守点検業務、施設の火災保険等に継続して入札を実施するとともに、桃源荘の受水槽更新工事、はまなし寮のナースコール改修工事に一般競争入札を行うほか、給食消耗品の法人一括発注など、経費削減に努めた。

③人件費の適正化等のため、各種手当等検討部会を設置し、他県の事業団等の各種加算制度の導入状況や、諸手当、賞与等の状況を調査する中で、検討を進め、ベースアップ等支援加算等の導入方針、賞与計算や住居手当の見直し案について提案し、翌年度の制度導入等に繋げた。

(2) 理事会等の開催

①理事会

事業計画、収支予算等の決議、事業報告、計算書類等の承認等を行うため、書面開催を含め、年3回、理事会を開催した。

②評議員会

事業計画、収支予算等の承認並びに事業報告及び計算書類等の承認等を行うため、年2回、評議員会を開催した。

③監事会

業務の実施状況及び財務状況を監査するため、監事会を開催した。

(3) 法人の経営管理

①経営会議の開催

毎月、定例的に、理事長、施設長等で構成する経営会議を開催し、経営に関する基本方針等の重要案件を協議するとともに、各施設の利用状況を検証し、対応策等を検討した。

また、経営会議の下部組織として、事業団職員で構成する「サービス向上部会」、「研修部会」、「各種手当等検討部会」等を設置し、利用者サービスの向上対策、研修内容の改善、その他経営会議の業務に必要な事項について調査研究を行った。

②人事労務管理

①大学や専門学校と連携して新卒者の確保に努めるとともに、実務経験を有する者についても積極的に雇用した。

特に、正規職員の採用に当たって、新規学卒者中心の年度採用については、新たに通年募集することとし、採用試験を9月以降、毎月実施して、その都度、採用内定を出すこととした。

更に、実務経験のある中途採用については、看護職員の資格要件を緩和するとともに、事業団に勤務する意思のある方を職員が紹介して採用に至った場合は、紹介職員に報奨金を支給する職員紹介報奨制度を創設した。

その結果、令和5年度の採用予定者は、新規学卒者9名を含む15名を、中途採用者は7名を確保することができた。

②全職員を対象に人事考課を実施し、職員の昇給(降給)、賞与等の的確に反映させることにより、職員処遇の公正化、職員の意識改革・能力開発及び組織運営の効率化を図った。

③全職員を対象にストレスチェックを行い、職員のストレスの程度を把握してメンタルヘルス不調を未然に防止し、働きやすい職場づくりを推進した。

④「職場におけるハラスメントの防止に関する細則」により、パワーハラスメントその他のハラスメントの防止に努めるとともに、「コンプライアンス行動規範」、「コンプライアンス行動基準」に基づいてコンプライアンスの徹底を図り、職員が働きやすい環境の整備等に取り組んだ。

また、コンプライアンスチェックシートにより、職員各自がコンプライアンスを自覚し、実践してもらうことに努めた。

⑤「働き方改革」による年5日の年次有給休暇を確実に取得するため、各施設において業務改善の取組を推進した。

⑥障害者雇用の推進

障害の有無に関わらず、誰もが活躍できる社会の実現のため、障害者の雇用に努め、令和4年度の実雇用率は、前年度を0.36%上回り、2.08%となったが、引き続き、法定雇用率をクリアできるように努力する。

⑦広報活動の推進

事業団ホームページにより、各施設の事業内容や決算状況、求人情報等を発信するとともに、従来、採用案内等を年に数回掲載していたインスタグラムを充実し、採用情報だけでなく事業団の行事や研修等の多様な情報を掲載し、事業団の生の情報を積極的に発信することに努めた。

⑧関係機関との連携推進

事業団の運営をより一層発展させるため、全国社会福祉事業団協議会等との連携を推進した。

また、全国社会福祉事業団協議会関東・甲信越ブロックの当番幹事として、必要な役割及び業務に遺漏がないように努めた。

(4) 施設・設備等の整備

「経営計画」に基づく整備を進めるとともに、県等の補助金を活用しながら必要な施設・設備等の整備を行った。特に、新型コロナウイルス対策として、有利な補助金を活用し、空気清浄機等の整備に努めた。

更に、公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会からサテライト桃源荘に福祉車両の寄贈を受けた。

また、もえぎ寮の移転については、山梨県及び大月市の協力を得て、移転候補地の検討等を行った。

◎主な施設・設備等の整備

- ・桃源荘／受水槽の更新工事(17,930千円)
- ・はまなし寮／ナースコール改修工事(13,167千円)
- ・豊寿荘／厨房スチームコンベクションの更新(924千円)
- ・明生学園／外灯等設備の修繕(685千円)

<新型コロナウイルス感染防止対策>

- ・豊寿荘外5施設／空気清浄機(91台)、サーキュレーター(35台)、扇風機(25台)、二酸化炭素測定器(2台) 計 7,653千円

◎福祉車両の寄贈

- ・サテライト桃源荘／エブリイワゴン(スロープ付き軽自動車)1台

(5) 人材の確保と福利厚生

①人材確保・育成対策の推進

質の高いサービスを提供し、将来の施設経営を担う優秀な介護・福祉人材等を確保するため、大学や専門学校等と連携して、令和4年4月1日付けで、新卒者を5名、実務経験を有する者を10名(うち看護師等6名)採用した。

また、「介護職員処遇改善加算」、「福祉・介護職員等特定処遇改善加算」等を取得し、「ベースアップ等支援加算」等の導入検討を進めて、介護職員等の処遇改善について対応するとともに、多様な職員研修を実施する中で人材の育成に努め、将来の事業団を担う職員を養成した。

更に、福祉人材育成への協力と人材確保のため、インターンシップや実習生の受け入れを行った。

②福利厚生事業の推進

職員相互の親睦と職場の活性化を図るため、レクリエーション代替事業等を実施した職員互助会に対し助成するとともに、職員の福利厚生充実のため、継続して、全事協年金共済事業及び福利厚生センター等に加入した。

また、職員の健康診断や35歳以上の職員を対象に人間ドック助成事業(5年に1回、3万円を限度・5名に助成)を実施した。

の家)研修室等を開放した。

(2) 危機管理体制の整備推進

①大規模地震や豪雨災害、火災等を想定した避難・防災訓練を実施し、非常時における利用者の安全確保に万全を期すとともに、大規模災害発生時の事業継続に必要な災害用備蓄を進めた。

また、浸水によるデータ喪失に備え、継続してバックアップサーバーを設置した。

②毎年度、はまなし寮で実施している富士山噴火避難訓練は、感染状況下を踏まえ、施設車両の招集・乗車訓練は中止し、本部との避難連絡、避難準備品の確認等の訓練を実施した。

③新型コロナウイルス対策として、各施設で、職員、利用者にワクチン接種を実施するとともに、新型コロナウイルス用事業実施継続計画や衛生管理・感染対策マニュアルに基づき、研修やシミュレーションを実施した。

更に、新型コロナウイルスのクラスター等が発生した施設については、状況を検証し、その経験を他施設の感染防止にも活かすため、経営会議で情報共有を図った。

④防犯・安全対策を推進するため、防犯カメラ等を引き続き活用した。

(3) 福祉避難所等

大規模災害の発生時に、地元市町の要請に応え、地域の高齢者や障害者など災害時要援護者を可能な限り受け入れる「福祉避難所」を設置することとしており、きぼうの家においては、洪水発生時等の地域住民の一時避難場所として、非常備蓄品の整備や駐車場の解放等の協力体制を継続して行った。

II 理事会・評議員会の開催、監査の実施

(詳細な開催、実施状況は、事業団のホームページを参照してください。)

III 法人の経営管理

1 経営会議の開催

経営に関する基本方針や予算編成方針の策定、職員採用計画、処遇改善策等の重要案件を協議するとともに、各施設の利用状況や半期ごとの収支状況によって事業団の経営状況を把握し、必要な対応策を検討した。

また、毎回、各施設の利用状況を検証し、対応策を検討した。(経営会議の詳細な開催状況は、事業団のホームページを参照してください。)

2 危機管理対応会議の開催(経営会議と同一メンバーで構成)

大規模地震や豪雨災害、富士山噴火等の大規模災害に備えた危機管理体制を整え、災害時における諸課題を協議するため、危機管理対応会議を開催した。

(1)令和4年6月17日(金)

- ・「はまなし寮における富士山噴火総合避難訓練」の実施について
- ・大規模水害時の広域避難に向けた方針について
- ・事業継続計画及び大規模災害時避難計画の修正について

3 人事労務管理

(1)職員の状況(R4年度)

- ①職員定数／323人(経営計画:常勤換算後)
- ②令和4年度当初職員数／297人(常勤換算後の実員311人)
- ③採用者数(正規登用を除く。)/41人(正規職員15人、契約職員26人)
- ④退職者数／48人(正規職員24人、契約職員24人)
- ⑤正規職員登用数／2人(③の採用者数に含まない。)
- ⑥人事関係日程(詳細日程は、事業団のホームページを参照してください。)

(2)職員の福利厚生【職員互助会の活動】

- ・職員相互の親睦と職場の活性化を図るため例年実施しているレクリエーション事業(球技大会、グラウンドゴルフ大会及びボウリング大会)は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止し、代替事業として「職員オンラインくじ引き大会」を開催した。
- ・職員の資質向上を図り、専門資格取得を奨励するため、資格を取得した職員に奨励金(20千円)を支給した。(介護福祉士6名、介護支援専門員1名)
- ・臨時の支出や資金を必要とする職員に貸付を行った。(1件:300千円)
- ・結婚、出産、傷病等に対して給付事業を行った。

IV その他

1 広報活動の推進

事業団のホームページに、基本理念や経営方針、事業報告・決算状況、各施設の事業内容や顧客満足度調査の結果、求人情報などを掲載するとともに、事業団職員としての自覚と誇りを喚起し職員同士の一体感を醸成するため、広報紙「ハーモニー」を四半期ごとに発行(各450部)した。

また、各施設に広報責任者及び担当者を配置し、各施設が行う様々な事業や活動などの情報を積極的に発信した。

2 関係機関との連携

事業団の運営をより一層発展させるため、全国社会福祉事業団協議会等との連携を推進し、同協議会関東・甲信越ブロックの当番幹事として必要な役割及び業務を担うとともに、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、WEBで開催された全国大会、関東・甲信越ブロックの会議に参加した。

3 地域貢献

(1) 福祉の拠点施設としての機能発揮

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、各種行事や交流事業等が中止となったが、そうした中でも、施設周辺地域の清掃活動への参加、インターンシップや実習生の受け入れ等を行った。また、感染防止対策を行う中で、各種団体等に事業団(きぼう

法人単位貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

Balance Sheet table with columns: 資産の部 (Assets), 負債の部 (Liabilities), 増減 (Change). Rows include 流動資産 (Current Assets), 固定資産 (Fixed Assets), and their sub-categories.

脚注 減価償却累計額 2,331,528,068円 徴収不能引当金 489,050円

※貸借対照表は、会社がどれくらいのお金と借金があるのかということを表しています。資産は会社が持つお金(あるいは、お金にかえることができるもの)です。資産は、会社が貸出したときの資本金やこれまでの利益(これらが資本になります)、そして外部からの借金(負債になります)でできています。ですから、必ず、資産=負債+資本(純資産)が成り立ちます。R4年度における当法人の当期正味財産の増減額は、▲126,994,225円となりました。

令和4年度決算報告

総括

サービス活動収益は、各施設において質の高いサービスの提供や、市町村と連携を密にした空床の解消や空床期間の短縮に努めてきたところであるが、新型コロナウイルスの第6波から始まって、第7波、第8波と感染拡大が続く中、県や市町村から新型コロナウイルスに係るかかりまし経費の補助金や、物価高騰に係る補助金を受け入れたものの、事業団においても複数施設でクラスターが発生するなどしたこと、利用者からのサービスを受け入れたものの、事業団においても複数施設でクラスターが発生したこと、利用者の欠員補充に苦慮したことなどにより、利用率は総じて低下し、前年度比で2千4百万円余の収入減となった。

法人単位事業活動計算書

自:令和4年4月1日 至:令和5年3月31日

(単位:円)

Income Statement table with columns: 勘定科目 (Account), 当年度決算(A) (FY2022 Actuals), 前年度決算(B) (FY2021 Actuals), 差異(A)-(B) (Difference). Rows include 収入 (Income), 費用 (Expenses), and 繰越活動増減差額の部 (Carry-over section).

※事業活動計算書は、その年度の法人の事業活動の成果を表すものであり、当期の純資産の増加は、事業活動の成果に他なりませんので、それを「当期活動増減差額」と呼んでいます。貸借対照表の純資産の部の「当期活動増減差額」とイコールになります。法人の純資産が、どのような原因で増加したのかを明らかにした計算書です。

法人単位資金収支計算書

自:令和4年4月1日 至:令和5年3月31日

(単位:円)

Statement of Financial Activities table with columns: 勘定科目 (Account), 予算(A) (Budget), 決算(B) (Actuals), 差異(A)-(B) (Difference). Rows include 収入 (Income), 支出 (Expenses), and 繰越活動増減差額の部 (Carry-over section).

※支払資金の増減原因を内容別に記載した計算書が、「資金収支計算書」になります。また、支払資金の増加額を、「当期資金収支差額」と呼んでいます。支払資金は、貸借対照表の流動資産及び流動負債(引当金等を除く)の差額で、その残高は流動資産の額が流動負債(引当金等を除く)の額を超える額となります。

桃源荘



「レクリエーション活動」

5月、桃源荘のユニットでは、プランターの花植えやペットボトルを使っのポウリングを行いました。利用者様からは「きれいな花だね」、「かわいい」、「身体を動かして良い運動になった」「楽しかった」という声や笑顔が見られて良かったです。



サテライト桃源荘



「お琴演奏会」

「以前、利用者様のご家庭より寄付していただいた和琴を使い、皆様の前で「さくらさくら」や「茶摘み」などの演奏を披露しました。やわらかい和琴の音色が館内に響き、みなさんゆったりとした気分で季節を感じながら楽しんでいただけだと思います。興味のある職員を中心にレッスンの波が拡大中です。今後、和琴に触れていただく機会を作っていきたいと思います。



はまなし寮



日課活動の様子

はまなし寮では、日ごろから様々な日課活動を行い、充実した日々を過ごしています。内容としては、職員の弾くピアノの音楽に合わせて歌ったり、最近では七夕に飾り飾りや折り紙を制作したりしています。



もえぎ寮



GW イベント

午前中は豪華景品をそろえた「ビンゴ大会」、午後は「紅白対抗歌合戦」を行いました。歌合戦は9点台連発で大盛り上がりでした。日ごろの練習の成果を発揮でき、とても満足された様子です。

きぼうの家



「チャレンジクッキング」

6月のチャレンジクッキングでは、チュロスを作りました。混ぜたり、盛り付けたりと皆さんとても真剣に取り組まれていました。出来上がり後は、皆さんで美味しくいただきました。



「春まつり」

コロナ禍で、イベントが開催できずにいましたが、ようやく3年ぶりに春まつりを開催することができました。当日は、曇りつない天候にも恵まれ、屋外で食事や買い物を楽しみ、カラオケも大盛り上がり、自然と手拍子が起こり、利用者様の良い笑顔がたくさん見られました。

明生学園



GW イベント

【学園バーベキュー・ポウリング】

GWの行事として学園にバーベキュー、ポウリング場でポウリングを楽しみました。バーベキューは児童の好きなお肉や野菜、惣菜を各ユニットで調理して楽しみながら食事をする事ができました。ポウリングでは各グループの中で点数を競ったり、何回ストライクが取れるかなど、各自で楽しみ方を見つけてながら過ごす事ができました。



豊寿荘



「父の日」

感謝の気持ちを込めて、父の日にお花をプレゼントしました。皆様とても喜んでくださいました。

A あなたは犬派ですか？猫派ですか？

Q 犬派です。ポストンテリアやパグなど鼻ぺちゃんな犬が好きです。

A 学生時代どんな部活に所属していましたか？

Q 写真部です。学園祭の写真が「佳作」になったことがあります。

A 趣味はなんですか？

Q 2年前に購入した「ハーレー」でツーリングに行くことです。若いころも乗ってましたのでリターンライダーですね。昔みたいに無茶な運転はせず安全運転でツーリングに出かけています。

A 好きな食べ物はなんですか？おすすめの店を教えてください。

Q お寿司が好きです。山梨市の寿司屋の Pasta (玉寿司) のランチがお勧めです。25年通っています。Pastaランチはお寿司・手作りコロッケ・デザートもついてかなりお得な金額です。何を食べても美味しくハズレはないですね。皆さんもぜひ一度食べに出かけてみてください。

A 将来どこに住みたいですか？

Q 京都です。御朱印集めがしたいので、ゆっくり寺巡りがしたいです。

A 今、一番欲しいものは？

Q 若さと体力と健康です(笑) この年になると体力も衰え、出来ることも出来なくなっている自分が許せないですね。特に朝は腰痛で起き上がるのが一苦労です(笑)



もえぎ寮

つかもと よしみつ
塚本 芳光 さん
■ 支援員

A 海外に行くならどこに行きたいですか？

Q 時間ができたら、チュニジアに行ってみたくて思っています。私は青色が好きなので、青と白のとてもきれいな家々が並ぶ街を、実際に自分の目で見てみたいです。

A 最近食べて美味しかったものを教えてください。

Q ライスペーパーお好み焼き。簡単に作れて美味しいですよ。

A 学生時代どんな部活動に所属していましたか？

Q 小・中・高とバレーボールをしていました。今はしていませんが社会人になってからもチームに所属したりしていました。

A 最近欲しい家電は？

Q ロボット掃除機です。自動で掃除してくれるなんて、すごい時代ですよ。

A コロナ禍でのストレス解消法は何ですか？

Q 通勤時間が長いので、ドライブ感覚で景色を楽しんだり好きな音楽を聴いたりしています。

A 職員同士のコミュニケーションで、特に気を付けていることはありますか？

Q 「書いてあるから見てね。」ではなく、顔を見て説明しながら更に「見ておいてね。」と伝えるようにしています。

A 好きなお笑い芸人は誰ですか？

Q 昭和の人間なのでドリフ一択です。子供と一緒に見て楽しんでいます。



はまなし寮

しみず こうた
清水 幸多 さん
■ 介護士長

きぼうの家

しみず さゆり
清水 小百合 さん
■ 介護士

A 好きなスポーツは何ですか？

Q サッカーです。ヴァンフォーレ甲府のサポーターをやっています。甲府クラブの頃からののでヤンマー釜本選手が現役時代の0-10なんて試合も観戦しました。ゴール裏ではねていると思っている方が多いですが、静か〜に応援してるんですよ。

A マック派ですか？モス派ですか？好きなハンバーガーは何ですか？

Q マック派です。通勤途中にあるので夜勤明けや遅延勤務の帰り道についつい「支払いdポイントで」って寄っちゃいます。夜10時過ぎに罪悪感を感じながらの倍ビックマック・・・最高です(笑)

A 座右の銘は何ですか？

Q 「お金で買えないものを大切に」経験や信頼・時間・家族や仲間…愛とか(笑)

A 最近食べて美味しかったものを教えてください。

Q コロナ禍になってからなぜか生玉ねぎが食べられるようになりました。回転ずしの「えびアボカド」にハマっています。

A インタビューを受けての感想は何ですか？

Q ほんと、イヤです。今の時代こんなに個人情報…これ見てイジメられたらどうするんですか(笑) インタビュー受けた人をお願いします。

A この仕事に何が大事(必要)だと思いますか？

Q 「いいかげん」です。マイナスばかりの「いい加減」ではなくプラスも加えた「良い加減」の方です。

A 幼少期のあだ名は何ですか？

Q 幼少期ではないですが、身長が小さくはないので小百合ではなく、「大百合ちゃん(だゆり)」と呼ばれることも…

職員

直撃!

まっぴー

Staff Interview



きぼうの家

まつうら ちかや
松浦 千佳也 さん
■ 主任支援員

A この仕事を選んだ動機をお聞かせください。

Q 保育園〜中学校まで和太鼓を習っていましたが、地元の老人ホームに慰問で行った時に、利用者の方と笑顔で関わっている職員の姿を見て福祉に興味を持ったのを覚えています。その時は漠然と「笑顔で対応してすごいな」としか思っていませんでしたが、自分もその職員さんみたいに笑顔で関われたらな…と思い、福祉の仕事を選びました。

A あなたが仕事で楽しいと感じるのはどんな時ですか？

Q 利用者の方とお話をさせていただく時が楽しいですね。仕事柄きぼうの家を拠点に、はまなし寮、もえぎ寮にもお邪魔させていただくことがあります。色々な利用者の方が出て、十人十色の話も聞けるため、話の中で新しい発見があると嬉しいですね。

A 休日の過ごし方は？

Q 休日は家族と過ごしていることが多いです。平日は仕事もあり、家族とゆっくり話をする事もできないこともあるため、休みの日に一緒に過ごす時間を多くとるように心掛けています。

A 好きなスポーツは何ですか？

Q テニスです。中学〜大学までテニス(軟式、硬式両方とも)部に所属していたのもあるので。コロナ禍前は友達とも月1回ペースでやっていました。

A コロナ禍が明けたら一番先に何がしたいですか？

Q ちょっと遠出の旅行をしたいです。色々観光して美味しいものを食べたいですね(笑)

A 最近欲しい家電は？

Q 掃除機が欲しいです。何年も使っていると段々と吸引力が…(笑) 家電製品も消耗品なので、徐々に買い替えていかなきゃとは思っています。

リハビリテーションの取り組み コロナ感染対策の中で

特別養護老人ホーム豊寿荘のリハビリテーション(以下「リハビリ」)では、1か月に1回のペースで、歩いたり車椅子をこいだりする速度(10mにかかる時間)を計っています。

コロナ禍の中、運動不足に陥って、体力が落ちていないかをチェックするために始めました。5月末時点で15名の方が参加されています。(施設定員29名)



歩行の時間を計測する方は歩数も数え、歩幅を計算します。



計った結果はご本人にお伝えし、その記録を維持するために、日頃からできるだけご自身で動くようにお勧めします。また、生活リハビリの一環として、日常生活の中に浸透できるように、他の職員とも協力しながら取り組んでいます。特に、食堂やトイレへの移動は、運動するチャンスです。

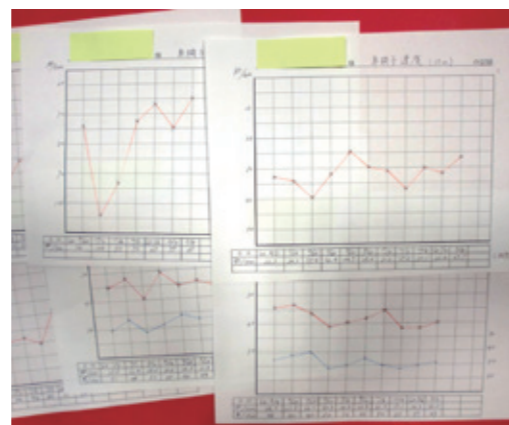
日常生活でのリハビリと並行して、理学療法士とのリハビリも実施しており、利用者様ごとに必要な運動を見極めて、週2回以上を目標に続けています。どの方も運動の効果を実感されると、ますますやる気がアップするという好循環が生まれます。まさに、「継続は力なり」です。



この取り組みを始めてから約2年が経ちました。この間、コロナ感染対策で、日中活動や行事の縮小、中止が続いたにもかかわらず、ほとんどの方が10m移動時間の記録を維持するか、伸ばすことができました。それに加えて、移動できる距離が長くなったり、歩幅が広がったりした方もいらっしゃいます。これらの結果から、コロナ禍にあっても、皆様が体力を保つことができていることが窺われます。

ささやかで地道な試みですが、皆様が真剣に取り組んでくださり、その努力が結実したことに、リハビリ担当職員としても安堵しているところです。そして、リハビリで維持した体力を生活の様々な場面で活かし、活動の幅を広げることができたのは、介護や看護スタッフも連携して取り組んでくださったお蔭です。

今年度に入り、感染対策を講じながら、行事や活動の再開が検討され始めました。利用者の皆様には、今こそ蓄えてきた体力や能力を発揮して、さらに充実した生活を送ってくださるよう願っています。



心理士とは

児童との心理面接(カウンセリング)やプレイセラピー(箱庭療法)、心理検査等を通して、児童のアセスメントや職員への助言を行っています。心理検査には統合型HTP法を用いた描画テストやバウムテストなどが挙げられます。今回は、職員に手伝ってもらい箱庭療法と統合型HTP法を用いた描画テストをご紹介します。

統合型HTP法

- 意味はH…House、T…Tree、P…Personの頭文字を取っています。心理士が「家と木と人を入れて、何でも好きな絵を描いてください」と教示を行い、絵を描いてもらいます。
- 家は家族に対するイメージや家庭環境、木は言語化が難しいような無意識的自己像や感情、欲求、エネルギーを反映、人は意識的な自己像や感情、もしくは養育者などの重要な人物に対するイメージや人間関係全体に対するイメージを反映しています。
- この3つを1枚の紙に描いてもらう事で、相互の関係性を読み取ることが出来ます。
- 例えば、下の写真の絵を見てもらうと、木や家よりも人物の方が大きく描かれています。人物が大きいということは「自分を見てほしい」「自己主張が強い」という風に捉えることが出来ます。これはほんの一例で、子どもによって描く絵は異なります。
- 私の主観ですが、虐待で入所した児童は経験不足やエネルギーの無さから羅列的な絵を描きます。入所して1年程経過すると、羅列的な絵から統合的な絵へと変化していきます。



箱庭療法

- 箱庭療法とは砂の入った箱の中に人形を置き、児童の気の赴くままに自由に何かを表現したり、遊ぶことを通して行う心理療法です。
- 使用する砂箱は57cm×72cm×7cmです。箱の中に砂が入っていて、その上に人形などを置きます。また、箱の内側は青く塗られており、砂を掘った時に「水」を表現できるようになっています。
- 児童が自分の気持ちの赴くままに人形を置けるように、心理職は児童が内的世界を表現しているのを見守りながら観察するようにしています。





Pen Relay ペンリレー



音楽に触れる時間を作ってみませんか？

もえぎ寮 主任支援員

楠 初美



所ジョージさんが司会を務める「吹奏楽の旅」という番組を観たことがありますか？
私はその番組を観てとても懐かしくなりました。
吹奏楽部に所属する生徒たちの大舞台といえば、東京都にある「普門館」。
高校野球といえば「甲子園」高校サッカーといえば「国立競技場」と同等の舞台なのです。
実は私、この舞台に立つたことがあります。中学入学と同時に近所に住んでいる先輩から声をかけていただき、半ば強制的に入部させられたのが吹奏楽部。
部の目標がこの「普門館」だったこともあり、顧問の厳しい指導のもと、過酷な練習の日々でした。
こんな厳しい練習してなにが楽しいんだろう？こんな毎日毎日怒られてなんの得があるのだろうと自問自答の日々。本気で退部を考えたことも何度もありました。

しかし、3年間なんとか続けた結果、普門館で演奏する日を迎えることができました。
失敗は絶対に許されない1発勝負。たった12分の演奏時間の中で、50人が一体となって自分たちの「音」を奏でなければなりません。極度の緊張で練習の成果を発揮することができず満足はいく「音」を奏でることはできず、なくて少し悔いは残りますが、この「普門館」に出場できたことは、わたしにとって人生の宝物なのです。
私たちの時代よりさらに厳しい道のりとなっている「普門館」での演奏。番組を観ながら「やはり厳しい練習を乗り越えなくちゃ大舞台にはたてないんだよな」と改めて思いましたし、同時に自分が普門館の舞台に立つことができたことに胸を張りたいと思いました。
厳しく辛い日々の中で、メンバー全員で助け合って1つの音楽をつくる経験は2度と味わうことのできないステキすぎる経験だったと思います。
この番組を観たあと、また音楽に触れてみたくなり、今「オカリナ」を練習しています。
まだまだ音もしっかり出せていませんが、いつか、もえぎ寮の利用者様の前で演奏できたいなと思っています。
音楽は「音」を楽しむものです。皆さんも音楽に触れる時間を作ってみてはいかがですか？
気持ち落ち込んでるとき、楽しい時、うれしい時、そこに最適な「音」が存在していますよ。私は今、もえぎ寮内の「普門館」を目指して日々オカリナの音と向き合っていると思っています。

令和4年度職員提案制度 理事長表彰 授賞提案公表！

本年度も17件の提案があり、うち16件が採択され、業務改善が実施されました。その中から最優秀賞に輝いたのは、もえぎ寮 支援員 小俣美恵子さんが提案した「創作活動で制作した作品の展示について」が見事選ばれました。

最優秀賞授賞者インタビュー

この度は、職員提案にて最優秀賞をいただき誠にありがとうございます。利用者様のライフワークとなっている貼り絵や創作活動でボランティアさんと作り上げた作品が談合坂SA様のご協力で多くの皆様に見ていただけるようになる大変うれしく思っています。

今後も利用者様に楽しくやりがいを持って創作活動をしていただけるよう支援していきたいと思っております。



令和4年度職員提案制度 理事長表彰授賞者

賞名	提案名	提案者
最優秀賞 (賞金1万円)	創作活動で制作した作品の展示について	もえぎ寮 支援員 小俣美恵子
優秀賞 (賞金5千円)	お知らせボードの設置	豊寿荘 支援員 雨宮 佳子
	入浴準備マニュアルの作成について	桃源荘 介護士 奥脇 一磨
	ボランティアミーティングの実施について	もえぎ寮 主任支援員 三枝 健太
最多提案賞 (賞金5千円)	利用者様の食事量確認簡略化	はまなし寮 栄養士 小野 孝美
	令和4年度中 4件	もえぎ寮 主任支援員 楠 初美

congratulations!

ご出産

女の子

小川 るいちゃん 令和5年3月15日生まれ

[明生学園 主任指導員 小川勇太]
[きぼうの家 指導員 小川ふみ]



編集後記

今年も暑い夏がやってきました。皆さん夏バテしていませんか？新型コロナウイルスも5類へ移行し少しずつではありますが、日常が戻りつつあります。我が家の子どもは楽しみにしていた夏休みがスタートし、何をしようかと必死です。

皆さんも感染対策をしながら、楽しい夏をお過ごしください。

きぼうの家 指導員 堀内将貴